

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111(内4064)

E-mail : c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 300,000 千円 (前年度予算額： 425,000 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	425,000	425,000	0	0	0	0	0	0
要求額	300,000	300,000	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・食品産業の輸出力強化を図るためには、HACCP等の国際規格・認証の取得が極めて重要である。
- ・このため、国庫補助事業を活用し、県内の食品製造事業者等を対象に、HACCP等に対応した施設整備を支援する。

(2) 事業内容

- ・加工食品等の輸出拡大に必要な製造・加工、流通等の施設の新設及び改修、機器の整備

[補助対象者] 食品製造事業者、食品流通事業者、中間加工事業者等

(3) 県負担・補助率の考え方
国庫補助（1/2以内）

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	300,000	事業実施予定：3事業者
合計	300,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）
第4章 <基本方針3> (2) <新たな海外戦略の展開>

(2) 国・他県の状況

令和2年度から実施した農林水産省の補助事業である。
他県採択状況一覧の公表はない。

(3) 後年度の財政負担

全額国庫補助のため、財政負担はない。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

輸出先のニーズに対応したHACCP等の基準を満たすため、食品製造事業者等の施設の改修及び新設、機器の整備に対する支援により、県全体の輸出力の更なる強化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H26)	R6年度 実績	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
農畜水産物の輸出額 (億円)	3.5	19.5	21.0	24.0	35.0	55.7%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・ 1地区 ((有)船坂酒造店) で事業採択され、ISO22000、コーチャ認証の基準を満たす機器の整備を行い、輸出量を増加させる体制を整えることができた。
	指標①(飛騨牛の年間輸出量) 目標 : 70,000kg 実績 : 79,954kg 達成率 : 114 %
令和5年度	・該当なし
	指標① 目標 : 80,000kg 実績 : 64,783kg 達成率 : 81 %
令和6年度	・ 1地区 ((株)エフアイコーポレイション) で事業採択され、FSSC22000取得の基準を満たす機器の整備を行い、輸出量を増加させる体制を整えることができた。
	指標① 目標 : 80,000kg 実績 : 64,783kg 達成率 : 81 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	今後、急速な人口減少社会を迎える中、農林水産業の所得を確保するために、相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備は、必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 2	飛騨牛、鮎、富有柿含め、農産物の輸出量は全体的に伸びてきており、県の輸出戦略に沿った事業実施の効果が現れている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 1	事業計画を策定し、採択基準に基づく採点のうえで採択事業者を決定するとともに、事業成果の評価等を行うため、実施の効率性は図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

農産物の輸出では、各国が輸入規制や条件を設定しているため、食品製造事業者等のHACCP等に対応した施設整備の推進が課題となっている。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
相手国の基準や海外ニーズに対応した施設及び体制の整備により、県全体の輸出力の更なる強化を目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	